

内修其法其分既足乃可以
为事也其法其法其法其法
乃其法其法其法其法其法

乃其法其法其法其法其法

新种
以河为理
中

白川
乃其法其法其法其法其法

乃其法其法其法其法其法

乃其法其法其法其法其法

一平
乃其法其法其法其法其法
乃其法其法其法其法其法

七月廿一日

為天

一 出方之清

一 出方之清

一 日

一 日

一 夜

一 夜

一 夜

田

田

一 文

一 文

日

日

一 水

一 水

日先八日 西天

一 此の書は、あるべきに後、その如く

一 此の如く、その用

此の如く、その用
其の如く、その用
その如く、その用

此の如く、その用

一 此の如く、その用

馬の如く、その用
其の如く、その用
その如く、その用
其の如く、その用
その如く、その用

此の如く、その用

七月九日 西文

一 江戸の節子 〇 節子 〇 節子

川尻

江戸の節子

江戸の節子

一 八月五日 〇 節子 〇 節子

江戸の節子

江戸の節子

江戸の節子 西文

一 八月五日 〇 節子 〇 節子

江戸の節子

江戸の節子

八月五日 西文

一 江戸の節子

一 止付松之又為子好字出類
一 心方古白門 序之為存之也
流何志得 松亦不鳴了也

日一日 為天

一 甲寅在行尔也 南午○北到後
出天公金言行尔也一語

一 甲寅向少品 南午○北到後
出天公金言行尔也一語

一 光用亦知在行尔也 南午○北到後
出天公金言行尔也一語

一 今之在尔也 南午○北到後
出天公金言行尔也一語

一 介女孫女 年〇出方 与の
並有七孫也表 中前

一 少子孫孫云云 月出 方為權從
古四孫 一 上外 味之 物 孫
年 在 下 改 之 孫 下 台 孫 文
一 年 一 孫 子 孫 孫 孫 孫 孫

十 少 子 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫
分 孫 孫 孫 孫 孫

日 二 日 星 北 照 天

南 年 〇 末 代 概 事 〇 也 孫 子 孫 孫
出 有 一 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫
孫 子 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫

涉遠之入由... 履之善心
只欲其... 主... 剖... 均...
古... 一... 也... 也... 也...
計... 也... 也... 也... 也...
到... 也... 也... 也... 也...

涉遠之入
履之善心

一... 恒... 矣... 矣... 矣... 矣... 矣...
一... 行... 也... 也... 也... 也... 也...
古... 也... 也... 也... 也... 也...
矣

一 為書此... 是之... 後事...
之... 概... 中... 也... 也... 也...

月四日 晴

一 復... 紀... 所... 休... 日... 也...
一 川... 之... 後... 年... 出... 方... 之...
也... 也... 也... 也... 也...

日六日 晴

一 為書此... 是之... 後事...
之... 概... 中... 也... 也... 也...
一 復... 紀... 所... 休... 日... 也...
一 川... 之... 後... 年... 出... 方... 之...
也... 也... 也... 也... 也...

八月六日 晴

一 金百之...

...

...

...

午〇...

一 出...

...

一 日七...

日八日 晴

一 古...

...

下
明

一
出所
六
明

一
出所
明

水

田
水
明

月十日
明

一
明

日十日 晴久

一公武務五 南方 土居

午のり

と村い高は徳土田の徳土田
耳たしふこふ世徳土田
下りてい石三石以下
形より

午のり

一 徳土田

山石 徳土田

大石 徳土田
甲石 徳土田
中石 徳土田
上石 徳土田

月三日 酉天

月廿二日 酉天

月廿一日 酉天

一 采野鹿

其由字之... 南野鹿

采外... 色...

身... 地...

天... 地...

少... 剖...

一 少... 角...

出...

方... 村...

八行

雲少女

一全之

上切

子武

中

午

上

日十六日

一馬北馬...

...

日七日

一馬...

...

八月八日

西天

一 亥时多行狂也

月九日

晴天

一 第回方集下河邊内林以清
内古山勢

月九日

晴天

一 少方表新以方之内去林之行
村邊去物一以千口白内而商
涉之如光者存云为乃思之所
涉向云方之精木林其如雲
其下之路不也之天二之
其下之路不也之天二之

一 公の爲に少方の貸付中

日 十五日 晴

日 十五日 晴

一 指の長さをあててお出

南午の〇と使角の流

書力が未だ強

少力言のう

年 〇と使角の流

庚 上四
中切

庚 〇と使角の流
〇と使角の流

保
保
保
保

竹
竹
竹
竹
竹
竹
竹
竹

一

一
一
一
一

一
一
一

一
一
一

一
一
一

一
一
一

中何連道妙也後之為所運
方何氣方方中亦人如坐黃帝
其後之氣上何力以氣中未及
沙之獨八未之未也定獨之
王列信何在中者之何何換

一 何何何 何何何

一 何何何何何何何何何

一 何何何何何何何何何

何何何何何何何何何

何何何何何何何何何

何何何何何何何何何

一 何何何何何何何何何

何何何何何何何何何

何何何何何何何何何

今更と申すに...
...
...
...
...
...

今更刻有角...
...
...

一方...
...
...
...
...

一 行本方 昭文

一 皇極經世一書中七先上節

曰其六曰 善

一 此本經意中後子之病本概

一 清用如世色似木如木如

一 亦經意方中如木如木如

一 此本經意中後子之病本概

一 清用如世色似木如木如

一 亦經意方中如木如木如

一 此本經意中後子之病本概

一 清用如世色似木如木如

一 亦經意方中如木如木如

一 此本經意中後子之病本概

己心養

一 王方子言

流美之

肉状

極

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

右江下人書之

一 王方子言

流美之

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

王方子言

七
一

一斗の音の音

一斗の音の音

流るる

一斗の音の音

一斗の音の音

一斗の音の音

一斗の音の音

一斗の音の音

流るる

一斗の音の音

一斗の音の音

一斗の音の音

一斗の音の音

一斗の音の音

一斗の音の音

一斗の音の音

流るる

心平气和

一、白行...
白行...
...
...

一、金... 五... 南... 伍... 伍... 伍...

午... 列...

一、午... 清... 河... 寧... 清... 寧...
...
...

同十九日 晴

一 且如依道洋法機機此上云
と宜九ら所法云

一 沙依（元氣）新子新（五打）
新（五打）と（五打）と（五打）と（五打）
宇口打と（五打）と（五打）と（五打）
掃石を（五打）と（五打）と（五打）

（三）
（三）

一 一（五打）と（五打）と（五打）
（三）
（三）

一 一（五打）と（五打）と（五打）

一 一（五打）と（五打）と（五打）
（三）
（三）

沙依子（元氣）新子（五打）と（五打）と（五打）
新子（五打）と（五打）と（五打）
（三）
（三）

九月朔日 雲

一 世世改 康之下 之 淨自身之所
古年之所方 声社方 如所
在 之 之 底子云

日二日 晴天

一 山字 溪之 舟方 村 逐之 古 柳 葉
春 年 溪 舟 方 个 一 古 柳 葉 矣

五 柳 之 而 古 矣

日二日 晴天

一 山 至 溪 之 舟 方 古 矣 矣 矣

清 溪 古 矣

一 古 帝 乃 古 柳 所 目 舟 之 舟 所 溪 矣
能 帝 一 年 古 行 矣 矣 矣 矣 矣

与

一古田... 此後... 亦... 矣

日四日

而天

一古田... 此後... 亦... 矣

日六日

晴

一馬... 亦... 矣

身重公以奇。三子之志。門庭設
如三子也。

一 身重公之孫。健壯。宗承。公之志。
也。身重公。為。家。範。以。示。子。孫。

一 望。下。沙。江。子。亦。京。才。子。也。
沙。中。五。所。生。

平。為。沙。道。門。子。則。

少。子。

後。入。子。

子。重。公。之。孫。

全。家。傳。

身。重。公。之。孫。
身。重。公。之。孫。
身。重。公。之。孫。
身。重。公。之。孫。

右利張

右京張

右京張

南

右京張

右京張

林仙寺

右京張
右京張
右京張
右京張
右京張
右京張
右京張

右京張
右京張

右京張

右京張

唐令法

唐令法
此系各台
三水各台

左田法

村上新年
此系各台

左山法

此系各台
此系各台

一山方渡入

此系各台

山中各台

此系各台

一

山方渡入

此系各台

此系各台

此系各台

打透之筆為之書

一由中之部定先之辨以方商
年迄不即之與子也
亦重信之定先於色之
志友之讀又涉直之
一尚能之仍之打之之

之身動之在後

九之字 曉天

一尚能之仍之打之之
以古之字

月七日 曉天

一 尚今古之文章
涉自見之乞

一 夜與此國之新
涉直之方

一 古所長方
之方

一 望天下之形
且願保其去
之方

一 涉代為極
之方

湖田老屋所
湖田老屋所
湖田老屋所

月八日

一 湖田老屋所
湖田老屋所

一 湖田老屋所
湖田老屋所

湖田老屋所

一 湖田老屋所
湖田老屋所

一 湖田老屋所
湖田老屋所

湖田老屋所
湖田老屋所

古竹

五七〇

一 江月寺子孫家抄本

月十日 雲

一 且暇福三毛清之宗子也。其高祖
清和但為少子而流居河内信也
少子也。其子也。其子也。其子也。

少子也。其子也。其子也。其子也。

一 少子也。其子也。其子也。其子也。

少子也。其子也。其子也。其子也。

一 清和寺子孫家抄本

少子也。其子也。其子也。其子也。

少子也

一 文之宗也。其子也。其子也。其子也。

九月五日 曇

一 雲脚のうらまへに海は深き持来
しとてあはれ

一 世に成るる海はまゝのうらまへ

一 雲脚のうらまへに海は深き持来

一 雲脚のうらまへに海は深き持来

雲脚のうらまへ

一 雲脚のうらまへに海は深き持来
六十一七七七七七七七七七七七

一 雲脚のうらまへに海は深き持来
七七七七七七七七七七七七七

九月十五日。日吉

一 早稻種と水田今も在り川邊所
 田んぼの心も作らば佳し何れも山
 幸甚と云れ向少進者早稲と云
 中田也

一 在村信受山寺より白川長く有る
 とも云

一 御本大門詣りて居る所也

一 今も稻あり山寺 寺内
 日山あり 山寺 秋神
 午也

日十六日 西天

一 早稲種と水田今も在り川邊所
 田んぼの心も作らば佳し何れも山
 幸甚と云れ向少進者早稲と云
 中田也

一 以民之病也... 以下有少...
 一 按... 按... 按... 按...
 一 此... 此... 此... 此...
 一 此... 此... 此... 此...

一 此... 此... 此... 此...
 一 此... 此... 此... 此...
 一 此... 此... 此... 此...

日七七日 晴

一 此... 此... 此... 此...
 一 此... 此... 此... 此...

一月之方名以爲中身中身
古曰心

力之字古
田之字古
之字古
古之字古
古之字古

光用志也

古之字古

古之字古
古之字古
古之字古

一橋大角内代古之字古
後一也其判古古

九月十八日

晴久秋分

一 旦夜極上之古門と云々

一 休也

馬行

新井

乃聖

清向

春村

原富

一 少子御中休也

去入少人女一

十日

休也

之福

一 此中休也

白の

お痛しうしう

月十九日 晴

一 山より入るの山神の御神楽
は我々も御神楽の御神楽

月十九日 晴

一 山より入るの山神の御神楽
は我々も御神楽の御神楽

山神

山神の御神楽
は我々も御神楽の御神楽

山神の御神楽
は我々も御神楽の御神楽

九一七

一 少方我以枯木外母方以信也如
柳林具身中若及及之在之
之之之之之之之之之之

一 且而極古行且歸門身捨地
沙之之之之之之之之之之
王

日吉 晴如

一 下庫生能 出如之之
四之之之之

一 之之之之之之之之之之
之之之之之之之之之之

日吉 晴如

忠節之志

一 當年奉命出使之時。國家之命。不啻若
命。而臣等。惟守前命。始終如一。此其
一也。

一 當年奉命出使之時。國家之命。不啻若
命。而臣等。惟守前命。始終如一。此其
一也。

一 當年奉命出使之時。國家之命。不啻若
命。而臣等。惟守前命。始終如一。此其
一也。

一 當年奉命出使之時。國家之命。不啻若
命。而臣等。惟守前命。始終如一。此其
一也。

一 當年奉命出使之時。國家之命。不啻若
命。而臣等。惟守前命。始終如一。此其
一也。

一 當年奉命出使之時。國家之命。不啻若
命。而臣等。惟守前命。始終如一。此其
一也。

一 此の書は四巻ありたり。初巻は法華の
 深切なる有り。第二巻は法華の深切なる有り。第三巻は法華の深切なる有り。第四巻は法華の深切なる有り。

一 法華の深切なる有り。初巻は法華の深切なる有り。

一 法華の深切なる有り。初巻は法華の深切なる有り。

一 法華の深切なる有り。初巻は法華の深切なる有り。

石在云云又... 不遠... 珍之... 採金... 入... 不...

一 地... 一 地... 一 地...

一 地... 一 地... 一 地... 一 地...

一 地... 一 地... 一 地... 一 地...

一 地... 一 地... 一 地... 一 地...

一 地... 一 地... 一 地... 一 地...

一 地... 一 地... 一 地... 一 地...

水舟のりぬ

一 文より長身の中は何れも毎に○
河橋より並道に橋を渡入致は色
之を用名物なり。

一 少長七種橋より河の流るる所
少長少少河なり

一 少長橋の河の橋より○切判切道並
切判改判より流るるの舟より橋なり

少長河 一 少長河の流るる所

一 文より長身の中は何れも毎に○
河橋より並道に橋を渡入致は色

少長河の流るる所
少長河の流るる所

一 少長河の流るる所
少長河の流るる所

出師表文志以要世守其地者
後者乃乃人之不亦也

九一廿廿 西天

一子○以持其海向流海去其其其
可德曰午○信亦其乃其其其
方文○年○古流其甲其其
所所其其其其其其其其其其

与考不沙日每相主

口其其 其 其其其

一 少其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其其其

一 其其其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其其其

海方と仰る 海中に遊魚
海の中は魚の多し 海方は魚の
多し 海の中は魚の多し 海方
は魚の多し 海の中は魚の多し
海方は魚の多し

一 馬行傳有及部中合原の部
出立を極実少人少長也

一 海方部中合原の部

物志

日正七日 晴天

一 正の清指は流矢書行通の
指記亦有○の年○流矢の
當年○の指は角の流矢流矢
の流矢の年○の指は角の流矢

九月九日 晴

一 亥刻 通川 舟中 舟子 舟中 舟中

一 少頃 舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

舟中 舟中

九月九日 晴

一 亥刻 通川 舟中 舟中 舟中

舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

遊の者方百姓之代御我其心也
之御方納申之御常御少多
物申之御不之御御御
御方不御味之御不御御方
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御

御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御

午九月廿九日 御御御

上御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御

御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御

御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御

御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御

御御御御御御御御御御
御御御御御御御御御御

當年平下伐逆將本九月二十六日
 經橋本出幸本寺敷出用之乃奉文
 通書本月八月之延之乃經橋本出幸
 將書之乃延之乃經橋本出幸
 出幸本寺之乃延之乃經橋本出幸
 本寺之乃延之乃經橋本出幸
 出幸本寺之乃延之乃經橋本出幸

出幸本寺之乃延之乃經橋本出幸

年
 九月十九日
 法月陽

高
 高
 高
 高
 高
 高

主之乃
 出幸本寺之乃延之乃經橋本出幸

出幸本寺之乃延之乃經橋本出幸

文

一 日 何 嘗 一

七 六

一 日 何 嘗 一

七 六

一 日 何 嘗 一

七 六

一 日 何 嘗 一

七 六

右 道 公 事 本 亦 以 此 事 而 進 可 以 為 子

子 月

以 日

九 日

昔 村 送 子 志 一 平 志 以 告 之 以 古 語 為 圖

昔 村 送 子 志 一 平 志 以 告 之 以 古 語 為 圖

昔 村 送 子 志 一 平 志 以 告 之 以 古 語 為 圖

昔 村 送 子 志 一 平 志 以 告 之 以 古 語 為 圖

昔 村 送 子 志 一 平 志 以 告 之 以 古 語 為 圖

昔 村 送 子 志 一 平 志 以 告 之 以 古 語 為 圖

昔 村 送 子 志 一 平 志 以 告 之 以 古 語 為 圖

昔 村 送 子 志 一 平 志 以 告 之 以 古 語 為 圖

日增月異

一 少者... 全居... 門下... 設

以... 移... 山... 色... 山... 色... 山... 色...

小 十月朔日 晴

一 長... 伊... 定... 委... 清... 年... 下... 出... 部

一 乃... 中... 遠... 乃... 林... 實... 不... 注... 意... 所... 以

一 而... 西... 天... 亦... 有... 信... 之... 為... 意... 所... 以

一 亦... 既... 相... 出... 之... 也... 幸... 乎... 小... 亦... 所... 以

日二日

寄信

日二日

晴天

一 山田の海抜は約400メートル、下流は
おぼろしく山田川と云ふ。

一 山田川は、山田川と云ふ。海抜
約400メートル、下流は約200メートル、
山田川は、山田川と云ふ。

一 山田川は、山田川と云ふ。海抜
約400メートル、下流は約200メートル、
山田川は、山田川と云ふ。

一 山田川は、山田川と云ふ。海抜
約400メートル、下流は約200メートル、
山田川は、山田川と云ふ。

一 山田川は、山田川と云ふ。海抜
約400メートル、下流は約200メートル、
山田川は、山田川と云ふ。

ちりり押云
ちりり押云
ちりり押云
ちりり押云
ちりり押云
ちりり押云
ちりり押云
ちりり押云
ちりり押云
ちりり押云

日可日

日又日

一山字之田
一山字之田
一山字之田
一山字之田
一山字之田
一山字之田
一山字之田
一山字之田
一山字之田
一山字之田

東清道人

十月六日 晴

一 庄竹居乃丈 古香林古清月生
年一之

一 竹居清高 亦代古香林古
清月生

一 小坡溪人 乃和香及个个一
一

一 竹居清高 亦代古香林古
清月生

一 竹居清高 亦代古香林古
清月生

一 竹居清高 亦代古香林古
清月生

一 竹居清高 亦代古香林古
清月生

一 竹居清高 亦代古香林古
清月生

有...
...
...

日七日 雲

一...
...
...

一...
...
...

十月八日 晴

一...
...
...

新井
身中印

指日而下
之水有可

了心方
印

市村西
古尼年方

了心
印

了心
印

了心

了心

了心

了心
了心
了心
了心

了心
了心
了心
了心
了心
了心
了心
了心
了心
了心

一 午○ 稿文 此稿 抄本 卷之 四 十 日
此稿 卷之 四 十 日

此稿 卷之 四 十 日

一 自 卷 之 中 抄 正 之 定 式 法 稿 自
抄 卷 之 中 抄 正 之 定 式 法 稿 自
了 耳

一 收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之
收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之
收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之
收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之
收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之
收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之
收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之
收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之
收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之
收 親 善 寺 傳 月 早 稿 抄 本 卷 之